

令和2(2020)年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属折尾幼稚園

No.	基本目標	【業務事業】 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	[保育のスキルの向上] 様々なテーマに合致する園内研修の実施	新型コロナウイルスの影響により、園外研修は中止やweb研修となった。積極的にweb研修へ参加し学びを深めた。3園合同研修は各園共通のテーマを元を実施した。本園ではラベルワークを取り入れ、教員一人ひとりが積極的に意見を述べ学び合えた。	コロナ禍で計画の変更など、柔軟な対応をしていると思う。 先生方の人柄やテンションの高さなど、今後も続けて頂きたい。
2		[体験型保育の充実] 園の特色を生かした教育課程の編成	新型コロナウイルス拡大防止対策を最大限に実施し各クラス少人数で水遊びや泥んこ遊びをし、夏に体験できる遊びを実施した。また、家庭では体験できないボディペインティングなども実施した。コロナ禍で、年間を通しての野菜や花などを植えたり育てたりできなかったが1学期間は職員が育てる様子や収穫の様子等をYouTube配信して知らせた。	野菜を育てることも、今年度は先生方がいつもよりすることが多かったでしょうが、園児たちも出来る事から参加し、人間も自然の中で生かされているので、小さいうちからの自然体験は大切だと思うので、良い取り組みをされている。
3	大学・地域との連携	[地域の福祉施設等との連携] 園行事への参加、および地域団体との交流の促進	昨年度より、老人介護施設への慰問を始め交流をもってきたが、新型コロナウイルス感染防止で今年度は見送ることになった。 勤労感謝での訪問は短時間で行い、警察署・消防署・東筑高校などへ出向き感謝の気持ちを伝えて手作りプレゼントをお渡しし、行事を通して地域の信頼と理解を深められた。	避難訓練などで、実際に避難する経験だけでなく、この場合はどうしたらいいか等、園児たちにかんがえさせて、考えをきいてあげることが分かり、素晴らしい取り組みをされている。生きる力が育っている。
4		[大学・地域のイベント等への参加] 大学・地域のイベント等への参加による幼稚園の理解促進	地域のイベントである「折尾まつり」が中止になり参加できなかった。JR折尾駅の七夕短冊への記入を園で行い、家庭保育期間であったが、協力していただける保護者に来園して頂いた。 学生との交流は九州女子大学・短期大学からの実習生を受け入れる中で行った。	附属幼稚園の良さである、たくさんの実習生との関りにおいて、園児や学生、職員の学びがあり相乗効果が発揮されている。
5		[大学教員との連携] 大学教員との連携・協働による教員の質の向上	大学教員と連携した正課教室の開催を2学期から行い専門的知識を学び、保育の質の向上に努めた。 科学遊びでは九州共立大学教授から科学の面白さや不思議さを学び、体験した。	それぞれの年齢に合わせた活動の中で、園児の感覚の違いや意見の面白さが日々の保育や生活の中で感じるように、園児が考えて行う良い経験が出来ている。

6		<p>[学生との連携] 学生企画のイベント等への参加、および学生とのコラボ企画による園のアピール</p>	<p>絵画造形教室では学生さんとの関りを楽しみながら、知的好奇心の学びへと繋がっていった。九州共立大学の学生さんによる、ラグビー体験をさせていただいた。お兄さんとの関りに恥ずかしがりながらも、楽しんで行えた。この様子は、ホームページへ記載し、大学生との取り組みをアピールした。また、同じく九州共立大学経済学部学生による、新しくなる折尾駅に新しく未就園児の親子が集えるような施設を作り上げるにはどのような内容があったらいいかと言うグループ会議が園で行われ、職員と学生との交流の場となった。</p>	<p>楽しい経験の様子をホームページに載せてあって、園児がどのような事をしているか、また楽しんでいる様子などが伝わる。「子どもたちを楽しませよう！」と学生さんが考える内容や関りも新鮮で、附属幼稚園の良さが存分に出ている。</p>
7		<p>[未就園児教室の充実] プログラムの提供、園行事への参加促進、ならびにクラス見学等への実施</p>	<p>昨年度より、月2回の開催とし人数が分散されて少人数で行う事ができた。また、玩具や絵本などの棚を設置し、絵本コーナーには絨毯を準備するなど、保護者と子どもたちが楽しく過ごせるような環境を整えた。内容も、昨年度好評だったものは残して行った。</p>	<p>在園児さんの踊りなどをみる機会があって、園児の雰囲気は自由で楽しそう！と思った。</p>
8	幼稚園運営の強化	<p>[ホームページ等による広報活動の推進] ネット社会を活用した情報発信により、保護者の関心を生み出し未就園児教室に参加を促し、信頼関係を構築し入園に繋げる。</p>	<p>今年度（12月）よりホームページを全面リニューアルした。保護者や外部の方たちにも好評で、たくさんの方にご覧いただけている。幼稚園の様子などを発信していき、今後も身近に感じられ、行ってみたいなと思ってもらえる幼稚園でありたいと思う。</p>	<p>コロナがあったので、配信技術が飛躍的に伸びた。YouTube配信により、より近くに園を感じる事ができた。保育参観は、行く時代から観る時代へとスタイルが変わっていくのではないだろうか。</p>
9		<p>[幼小連携プログラムの策定] 幼小連携を強化し、幼稚園の存在をアピ</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響により、学校見学や幼稚園訪問などの小学校との連携が出来なかった。小学校との連絡会に参加し、スムーズな小学校入学へ向けての連携を取っていきたい。</p>	<p>コロナの影響がすべてで、なかなか小学校訪問ができないだろうが、安心感を持って入学へ繋がるように、落ち着いたら連携を再開して欲しい。</p>